芝浦工業大学大宮キャンパス　齋藤記念館

TOTO

斎藤記念館　外観

1991年に開設された齋藤記念館は、端部を45度に切り取ったコンクリート壁、矩形のアルミパネル、並置された列柱などが特徴的な建物で、「埼玉景観賞」を受賞している。

斎藤記念館　内観

講義や説明会などで使用される1Fには、大教室のほか自習スペースや食事ができるラウンジなどがあり、学生たちが集まる場所になっている。

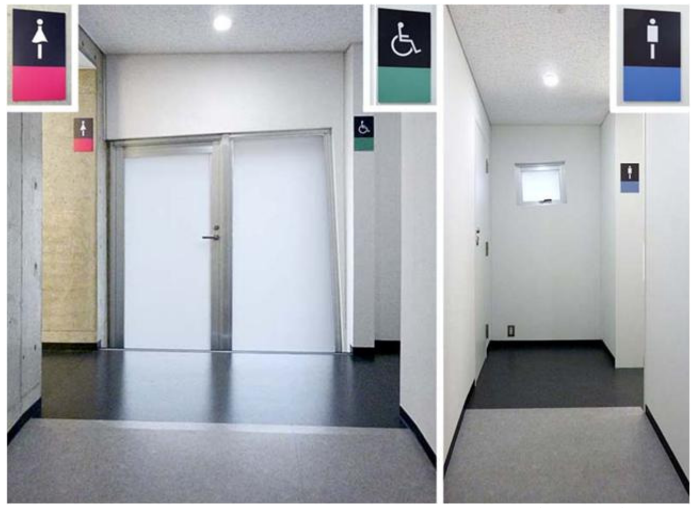
1F　男性トイレ　大便器ブース

1ヶ所の大便器ブースにはL型手すりを設置。出入口近くには、身だしなみチェックのために大型の姿見を設置している。

1F　多機能トイレ

多機能トイレは、必要な設備がパッケージされた、汚物流し付きのコンパクト多機能トイレパックを採用。

1F　トイレ入口



男・女トイレと多機能トイレがひと目でわかるように、ピンク・グリーン・ブルーで色分けされた、シンプルでわかりやすいピクトグラムを掲示。
ドアや窓を傾斜させた特長的なデザインとなっている。

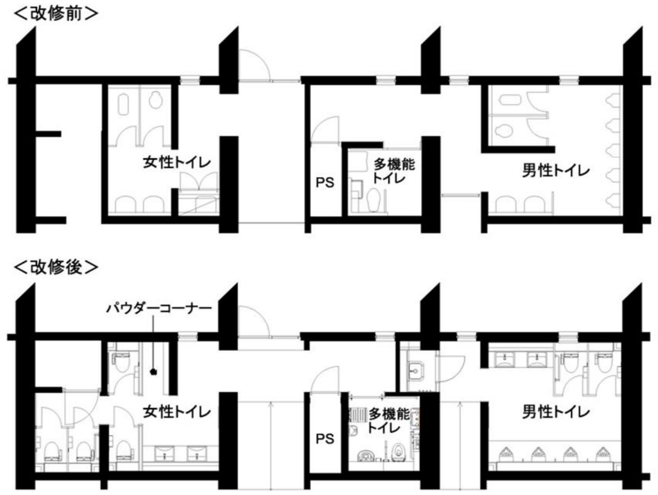
1F　女性トイレ　大便器ブース

大便器は、床の清掃性に優れた壁掛式とし、ウォシュレットを設置。緊急時対応として呼出ボタンも設置。扉は一定の角度で開いて止まり、ブースの空き状況がひと目でわかるようになっている。

1F　多機能トイレ

小さなお子様連れにも配慮して、ベビーチェアやフィッティングボードも完備している。

トイレ図面



女子学生の増加に対応するため、自動販売機コーナーを女性トイレとして活用。大便器ブースの増設のほかパウダーコーナーを新設した。

1F　女性トイレ　洗面・パウダーコーナー

洗面器は荷物配慮として、カウンターへの水はねを低減するタイプを採用。
身だしなみに配慮してパウダーコーナーと、洗面コーナーには、全身のチェックができる姿見を設置している。

1F　男性トイレ　小便器コーナー

小便器は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置。
小便器の間には、荷物や傘などが掛けられるフックを設置している。

建築概要

名　　称	芝浦工業大学大宮キャンパス齋藤記念館
所 在 地	埼玉県さいたま市見沼区深作307
施　　主	学校法人芝浦工業大学
設　　計	株式会社大林組一級建築士事務所
施　　工	株式会社大林組東京本店
竣 工 年 月	（改修）2015年3月

水まわりの特長

＜施設の概要＞
1927年（昭和2年）創立の歴史を誇る芝浦工業大学。広大な敷地に緑があふれる大宮キャンパスは、1966年4月に開校された。齋藤記念館は、1Fが学生のスペース、2Fがゼミ室となっており、芝浦工業大学の元教授齋藤雄三氏の寄付によって1991年に開設。「埼玉景観賞」を受賞している。

＜改修の経緯＞
築24年が経過しトイレの老朽化が進み、学生からトイレ改修を要望する声が上がったこと、また女子学生の増加により、女性トイレが手狭となったこともあり、全面的なトイレ改修を実施した。

＜トイレの特長＞
自動販売機コーナーを活用し女性トイレを拡張。大便器ブース増設のほか、パウダーコーナーを新設。トイレ空間は、コンクリート打ち放しの建築に調和した、白を基調に床や建材にダークグレーを組み合わせたシックで落ち着いた空間となっている。大便器ブースには、男女ともすべてウォシュレットを設置し、緊急時対応として呼出ボタンを完備している。

2015.12 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2015 All Rights Reserved　29276